

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課																				
事 業 名	教育委員会運営事業																						
教育の一般方針 重 点 施 策	—																						
事業の意図	教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。																						
【主な実施内容】																							
<p>教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。</p> <p>(1) 定例会 12回（月1回）開催しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ア 議事</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">イ 議案</td> <td style="text-align: right;">58件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(ア) 人事関係</td> <td style="text-align: right;">20件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(イ) 予算関係</td> <td style="text-align: right;">9件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(ウ) 条例、規則等</td> <td style="text-align: right;">10件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(エ) 後援名義使用許可</td> <td style="text-align: right;">8件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(オ) 表彰、褒賞等</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(カ) その他</td> <td style="text-align: right;">5件</td> </tr> </table> <p>(2) 臨時会 1回（4月）開催しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ア 議事</td> <td style="text-align: right;">1件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">イ 議案</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> </table> <p>(3) 総合教育会議 2回（9月、3月）開催しました。</p>				ア 議事	0件	イ 議案	58件	(ア) 人事関係	20件	(イ) 予算関係	9件	(ウ) 条例、規則等	10件	(エ) 後援名義使用許可	8件	(オ) 表彰、褒賞等	6件	(カ) その他	5件	ア 議事	1件	イ 議案	0件
ア 議事	0件																						
イ 議案	58件																						
(ア) 人事関係	20件																						
(イ) 予算関係	9件																						
(ウ) 条例、規則等	10件																						
(エ) 後援名義使用許可	8件																						
(オ) 表彰、褒賞等	6件																						
(カ) その他	5件																						
ア 議事	1件																						
イ 議案	0件																						
【評価及び課題、問題点など】																							
<p>教育委員会は、地方分権の進展による責任の増大、政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、文化・スポーツの振興といった多くの課題を抱えています。</p> <p>このため、現場の意見に基づいた議論を行う必要があります。各種会議・行事等に参加し、意見交換や現地の状況を確認するなど、活発な活動を通じて引き続き教育行政の推進に努める必要があります。</p> <p>なお、児童生徒の保護者を含む町民に対して、開かれた教育委員会とするため、教育委員会の活動内容について情報を提供することが、ますます重要となってきています。</p>																							

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課																																																							
事業名	教育振興一般管理事業																																																									
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力」をバランスよく確実に育むための具体的手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力や態度の育成 (3)基本的生活習慣の徹底と道徳教育の充実 (7)児童生徒の安全指導及び健康保持																																																									
事業の意図	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。																																																									
【主な実施内容】																																																										
(1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。 (2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。 (3) 小学校の状況（平成30年5月1日現在） <table style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 15%;">ア 東郷小学校</td> <td style="width: 15%;">児童数</td> <td style="width: 15%;">467人、学級数</td> <td style="width: 15%;">18学級、教職員数</td> <td style="width: 15%;">34人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木台小学校</td> <td>児童数</td> <td>438人、学級数</td> <td>17学級、教職員数</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪小学校</td> <td>児童数</td> <td>409人、学級数</td> <td>16学級、教職員数</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>エ 音貝小学校</td> <td>児童数</td> <td>491人、学級数</td> <td>19学級、教職員数</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>オ 高嶺小学校</td> <td>児童数</td> <td>526人、学級数</td> <td>21学級、教職員数</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>カ 兵庫小学校</td> <td>児童数</td> <td>593人、学級数</td> <td>21学級、教職員数</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>児童数</td> <td>2,924人、学級数</td> <td>112学級、教職員数</td> <td>201人</td> </tr> </table> (4) 中学校の状況（平成30年5月1日現在） <table style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 15%;">ア 東郷中学校</td> <td style="width: 15%;">生徒数</td> <td style="width: 15%;">441人、学級数</td> <td style="width: 15%;">15学級、教職員数</td> <td style="width: 15%;">34人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木中学校</td> <td>生徒数</td> <td>722人、学級数</td> <td>25学級、教職員数</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪中学校</td> <td>生徒数</td> <td>242人、学級数</td> <td>10学級、教職員数</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>生徒数</td> <td>1,405人、学級数</td> <td>50学級、教職員数</td> <td>112人</td> </tr> </table> (5) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。				ア 東郷小学校	児童数	467人、学級数	18学級、教職員数	34人	イ 春木台小学校	児童数	438人、学級数	17学級、教職員数	28人	ウ 諸輪小学校	児童数	409人、学級数	16学級、教職員数	33人	エ 音貝小学校	児童数	491人、学級数	19学級、教職員数	32人	オ 高嶺小学校	児童数	526人、学級数	21学級、教職員数	35人	カ 兵庫小学校	児童数	593人、学級数	21学級、教職員数	39人	計	児童数	2,924人、学級数	112学級、教職員数	201人	ア 東郷中学校	生徒数	441人、学級数	15学級、教職員数	34人	イ 春木中学校	生徒数	722人、学級数	25学級、教職員数	49人	ウ 諸輪中学校	生徒数	242人、学級数	10学級、教職員数	29人	計	生徒数	1,405人、学級数	50学級、教職員数	112人
ア 東郷小学校	児童数	467人、学級数	18学級、教職員数	34人																																																						
イ 春木台小学校	児童数	438人、学級数	17学級、教職員数	28人																																																						
ウ 諸輪小学校	児童数	409人、学級数	16学級、教職員数	33人																																																						
エ 音貝小学校	児童数	491人、学級数	19学級、教職員数	32人																																																						
オ 高嶺小学校	児童数	526人、学級数	21学級、教職員数	35人																																																						
カ 兵庫小学校	児童数	593人、学級数	21学級、教職員数	39人																																																						
計	児童数	2,924人、学級数	112学級、教職員数	201人																																																						
ア 東郷中学校	生徒数	441人、学級数	15学級、教職員数	34人																																																						
イ 春木中学校	生徒数	722人、学級数	25学級、教職員数	49人																																																						
ウ 諸輪中学校	生徒数	242人、学級数	10学級、教職員数	29人																																																						
計	生徒数	1,405人、学級数	50学級、教職員数	112人																																																						
【評価及び課題、問題点など】																																																										
学校だけでは対応が困難な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題解決の支援を行いました。しかし、児童生徒を取り巻く問題は様々あり、問題解決するまでには長期化するものもあります。1つでも多く問題を解決するために、スクールソーシャルワーカーに負荷が掛からないよう事業を継続して実施していく必要があります。																																																										

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課
事 業 名	適応指導事業		
教育の一般方針 重 点 施 策	(5)生徒指導の充実		
事業の意図	不登校児童生徒に集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 「ハートフル東郷」を開設しました。</p> <p>ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。</p> <p style="margin-left: 20px;">(ア) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。</p> <p style="margin-left: 20px;">(イ) 基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。</p> <p style="margin-left: 20px;">(ウ) 対人関係の広がり支援し、集団への適応力を育成しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">(エ) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。</p> <p>イ 運営時間 午前9時から午後3時まで（月曜日から金曜日）</p> <p>ウ 通室者数 10人〔町内小中学校不登校児童生徒数68人（H30年度不登校児童生徒状況調査）〕</p> <p>(2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>通室する児童生徒に対しては適切な指導を行っているが、常にハートフル東郷に通室している児童生徒がいます。しかし、通室すらできない児童生徒がいることや、学校へ復帰後にまた不登校となる児童生徒もいることから、今後も引き続き家庭、学校、地域などとの連携を密にしながら取り組んでいく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	生徒指導事業		
教育の一般方針 重点施策	(5)生徒指導の充実		
事業の意図	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 生徒指導推進協議会 3中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。</p> <p>(2) スクールカウンセラー</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 小学校 6小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、児童等からの相談を受けました。 児童等相談件数 150件 年間相談時間 416時間 (208時間×2人)</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 中学校 3中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、生徒等からの相談を受けました。 生徒等相談件数 593件 年間相談時間 624時間 (208時間×3人)</p> <p>(3) 心の教室相談員 3中学校に計5名(東郷中学校1名、春木中学校2名、諸輪中学校2名)の心の教室相談員を配置し、生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 生徒等相談件数 561件 勤務時間数 東郷中学校 190時間 春木中学校 282時間 諸輪中学校 456時間</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>スクールカウンセラー及び心の教室相談員への相談は需要があります。 児童生徒の問題行動の発生を事前に把握することは困難ですが、児童生徒がいつでも気軽に相談できるように工夫する必要があります。このため専門家ではない、お兄さん、お姉さんの立場の心の教室相談員を配置しており、毎年多くの相談があり、効果を出しているため、今後もこの形態を維持していきます。 なお、児童生徒の問題行動は家庭などに問題がある場合が多く、学校が対応できることに限界があることから平成28年度からスクールソーシャルワーカーを1名配置し、平成29年度には1名増員の2名配置しましたが、その需要は年々高まっていることから、さらに増員できるよう財政措置の面で県に要望しています。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	高等学校等教育振興事業		
教育の一般方針 重点施策	-		
事業の意図	保護者負担を軽減し、公立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。		
【主な実施内容】			
<p>生徒が、平成30年10月1日現在私立高等学校等に在籍しており、かつ同日時点で町内に在住している保護者に対して、生徒1人当たり年額上限10,000円（実際の授業料支払額が10,000円未満の場合は、その額まで）を補助しました。</p> <p>(1) 補助実施生徒数 385人</p> <p>(2) 在籍学校数 78校</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>授業料の格差を是正するために、今後も継続する必要があります。</p> <p>なお、令和元年度から補助上限を廃止し、一律10,000円の補助になるよう改正予定です。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	学童教育推進事業		
教育の一般方針 重点施策	-		
事業の意図	学童期からの運動促進、運動好きな子どもを育み基礎体力の向上を図る。		
【主な実施内容】			
<p>産官学で連携し、研修会や講習会を実施しました。 (産：施設サービス株式会社、官：東郷町教育委員会、学：順天堂大学)</p> <p>(1) 順天堂大学の加納名誉教授を招き、教職員向け研修会を開催しました。 日時：平成30年8月7日(火) 午後2時00分から午後4時00分まで 平成30年8月8日(水) 午前9時30分から午前11時30分まで 場所：東郷町総合体育館 アリーナ 参加者：38人</p> <p>(2) ロープパフォーマーのSADAさん等を招き、諸輪小学校及び春木台小学校の児童向けに講習会を開催しました。 ア 日時：平成31年1月8日(火) 午後0時55分から午後3時15分まで 場所：東郷町立諸輪小学校体育館 参加者：411人 イ 日時：平成31年1月9日(水) 午前9時45分から午後0時05分まで 場所：東郷町立春木台小学校体育館 参加者：432人</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>学童期における子ども達へのパフォーマンスを見せる講習会だけでなく、教職員向けの研修会も開催することによって、教える側と教わる側の双方にとって基礎体力の向上に対する意欲を向上させる事業であると考えます。令和元年度は東郷小学校で実施する予定で、これにより町内全小学校で実施済みとなることから、事業内容の見直しが必要な時期と考えます。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	小中学校保健事業		
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力」をバランスよく確実に育むための具体的手立ての確立		
事業の意図	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 小中学校保健一般事業</p> <p>ア 児童生徒健診（小学校 2,924 人、中学校 1,405 人） 尿（2回）、心電図（小学1・4年生、中学1年生）、血液検査（中学2年生）、胸部X線（結核精密検査該当者）</p> <p>イ 教職員健診（小学校 190 人、中学校 110 人） 胃・眼底（35歳以上）、尿、胸部X線（結核）、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科健診、ストレスチェック</p> <p>ウ 産業医の委託（春木中学校 1名）</p> <p>(2) 小中学校学校医等設置事業</p> <p>ア 学校医 内科健診（児童生徒、教職員）と就学時健診（小学校入学前） 眼科分（小学2・3・5・6年生と中学2・3年生）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>イ 歯科医 歯科健診（児童生徒）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>ウ 耳鼻科医 耳鼻科健診（小学1・4年生、中学1年生）</p> <p>エ 眼科医 眼科健診（小学1・4年生、中学1年生）</p> <p>オ 薬剤師 水質検査、学校環境測定（ダニ・ホルムアルデヒド・教室の照度・CO₂濃度など）</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>健康診断により疾病・異常を早期発見し、予防処置を施し、治療に役立てています。今後も学校保健安全法等に基づき、児童生徒の健康指導の面で継続していく必要があります。</p> <p>中学2年生で実施する血液検査（貧血）の項目に、平成26年度から肝機能検査、血中脂質検査を加え、生活習慣病の早期発見・予防に努めています。</p> <p>また、小学校1年生、4年生、中学校2年生の希望者に対し、色覚検査を行いました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

	担 当 課	学校教育課
事業名	小中学校維持管理事業	
教育の一般方針 重点施策	(8)学校施設等の整備	
事業の意図	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。	
【主な実施内容】		
<p>(1) 小中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。</p> <p>ア 小中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（小学校 22 件、中学校 15 件）を実施しました。 ①学校施設警備業務、②自家用電気工作物保守点検業務、③昇降機保守点検業務 ④消防用設備等保守点検業務、⑤浄化槽保守点検業務、⑥ごみ収集運搬業務、 ⑦濾過装置保守点検業務、⑧学校植栽維持管理業務、⑨学校施設清掃業務 ⑩兵庫小学校維持管理業務、⑪ガス空調機保守点検業務 など</p> <p>イ 学校環境の点検を行いました。 ①飲用水水質検査、②プール水水質検査、③学校環境衛生検査（ダニ及びホルムアルデヒド）など</p> <p>ウ 小中学校に臨時職員を配置しました。 ①学校用務員 9 人（小学校 6 人、中学校 3 人）、②学校給食配膳員 9 人（小学校 6 人、中学校 3 人） ③学級運営改善対応員 23 人（小学校 20 人、中学校 3 人）、 ④学校生活介助員 26 人（小学校 21 人、中学校 5 人）、 ⑤非常勤講師 13 人（小学校 6 人、中学校 7 人）、 ⑥学校図書館司書教諭補助員 9 人（小学校 6 人、中学校 3 人） ⑦養護教諭補助員（中学校 3 人）</p> <p>(2) 小中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。</p> <p>ア トイレ改修工事設計業務（音貝小学校北校舎・諸輪中学校校舎） イ 空調設備整備工事設計業務（全小中学校） ウ 空調設備整備工事監理業務（全小中学校） エ 空調設備整備工事（全小中学校） オ 耐震診断業務（春木台・諸輪・高嶺小学校・東郷中学校の渡り廊下） カ トイレ改修工事監理業務（高嶺小学校南校舎） キ トイレ改修工事（高嶺小学校南校舎） ク 情報整備整備工事（全小学校） ケ ブロック塀等改修工事（東郷・春木台・諸輪・音貝小学校、東郷・諸輪中学校） コ 防水補修工事 始め 24 件</p>		
【評価及び課題、問題点など】		
<p>今後、老朽化の進む施設の更新、改修に係る工事費等の急増が見込まれるため、平成 29 年度に策定した長寿命化計画に沿って修繕を行う必要があります。</p> <p>また、トイレの洋式化についても、計画的に進める予定です。</p> <p>学校からの要望に応え、学級運営改善対応員を小学校 6 名、学校生活介助員を小学校 6 名、養護教諭補助員を中学校 2 名増員しました。</p>		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課																																				
事 業 名	小中学校運営事業																																						
教育の一般方針 重 点 施 策	(1)「生きる力」をバランスよく確実に育むための具体的手立ての確立 (3)基本的生活習慣の徹底と道徳教育の充実 (4)学校、家庭、地域社会との連携 (6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備																																						
事業の意図	小中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。																																						
【主な実施内容】																																							
(1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、部活動に対する補助を行いました。 (2) 学校評議員を37名委嘱し、学校評議員会を年間延べ21回開催し、延べ80人が出席しました。 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">東郷小学校</td> <td style="padding-right: 20px;">4名</td> <td style="padding-right: 20px;">3回</td> <td style="padding-right: 20px;">東郷中学校</td> <td style="padding-right: 20px;">5名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>春木台小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td>春木中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>諸輪小学校</td> <td>4名</td> <td>3回</td> <td>諸輪中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>音貝小学校</td> <td>5名</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高嶺小学校</td> <td>3名</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (3) 外国人英語指導業務 全小学校には2人の外国人指導助手を、全中学校には新たにJETプログラムを活用して2人の外国人指導助手を割り当て配置しました。 (4) 特色ある事業の一環として、健康教育や地域文化教育、福祉教育など学校の独自性に合わせた教育を行いました。				東郷小学校	4名	3回	東郷中学校	5名	2回	春木台小学校	4名	2回	春木中学校	4名	2回	諸輪小学校	4名	3回	諸輪中学校	4名	2回	音貝小学校	5名	3回				高嶺小学校	3名	2回				兵庫小学校	4名	2回			
東郷小学校	4名	3回	東郷中学校	5名	2回																																		
春木台小学校	4名	2回	春木中学校	4名	2回																																		
諸輪小学校	4名	3回	諸輪中学校	4名	2回																																		
音貝小学校	5名	3回																																					
高嶺小学校	3名	2回																																					
兵庫小学校	4名	2回																																					
【評価及び課題、問題点など】																																							
総合的な学習の時間などで地域社会との交流、国際理解などの学校単位での特色ある学習が増えてきています。 なお、平成30年度からは、JETプログラム（文部科学省、外務省及び総務省の協力のもと、語学指導等を行う外国青年を招致する事業）を活用し、外国人指導助手を2名配置し、学校からはネイティブな英語で授業を受けられると好評でした。また、令和元年度は新たに2名を増員し、配置する予定です。 地域に開かれた学校づくりを一層推進し、保護者や地域住民の協力を得て、学校運営に関する意見を広く求めながら、学校としての説明責任を果たしていくために学校評議員制度を今後も活用していく必要があります。																																							

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

担 当 課	学校教育課
-------	-------

事業名	小中学校図書館整備事業
教育の一般方針 重点施策	(2)生涯学習の基礎となる能力や態度の育成 (8)学校施設等の整備
事業の意図	学校図書館の蔵書数を文部科学省の定める図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童生徒の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

【主な実施内容】

(1) 蔵書状況

	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
東郷小学校	159 冊	78 冊	10,862 冊	10,360 冊	105%
春木台小学校	159 冊	124 冊	10,830 冊	9,960 冊	109%
諸輪小学校	331 冊	135 冊	9,601 冊	9,560 冊	100%
音貝小学校	716 冊	400 冊	10,849 冊	10,560 冊	103%
高嶺小学校	694 冊	281 冊	11,730 冊	10,960 冊	107%
兵庫小学校	161 冊	113 冊	11,812 冊	10,960 冊	108%
計	2,220 冊	1,131 冊	65,684 冊	62,360 冊	
東郷中学校	280 冊	871 冊	13,522 冊	12,160 冊	111%
春木中学校	580 冊	376 冊	15,896 冊	15,840 冊	100%
諸輪中学校	424 冊	223 冊	9,469 冊	9,600 冊	99%
計	1,284 冊	1,470 冊	38,887 冊	37,600 冊	

(2) 年間貸出冊数

東小	春小	諸小	音小	高小	兵小	計	東中	春中	諸中	計
6,100	6,771	12,790	10,002	7,847	15,521	59,031	629	5,495	853	6,977

【評価及び課題、問題点など】

計画的な図書の整備や充足率の低い学校へ重点的に予算を配当したことにより、蔵書状況が改善されました。

総合学習など、さまざまな分野の学習が求められており、学校図書館の充実、より広範囲な図書の選定などが求められています。また、コンピュータの普及により、本に触れる機会が減ってきているため、小学校において読書の時間を設けるなど多様な読書活動に取り組むようになってきています。本に親しむことは、心豊かな児童生徒を育てる上で欠かせない要素であり、今後も標準冊数を確保できるように計画的な整備を実施していく必要があります。

特に、中学校では貸出冊数が少ないため、心身ともに成長期を迎えている生徒に対し、より多くの本に親しんでもらえるよう、読書活動を今後さらに推進する必要があります。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課			
事業名	小中学校特別支援教育奨励事業					
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力」をバランスよく確実に育むための具体的手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力や態度の育成 (3)基本的生活習慣の徹底と道徳教育の充実					
事業の意図	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減を図ります。					
【主な実施内容】						
小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。						
(1) 支給人数						
小学校 49 人、中学校 21 人						
(2) 支給費目						
学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費						
(3) 費目別支給金額						
	区分	学用品費	学校給食費	新入学用品費	校外活動費	修学旅行費
	小学校	250,300 円	978,535 円	182,700 円	38,345 円	75,999 円
	中学校	133,920 円	410,930 円	165,900 円	11,625 円	194,595 円
【評価及び課題、問題点など】						
教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき事業を実施しています。この制度について、正確に保護者に周知する必要があります。						

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課																														
事業名	小中学校就学援助事業																																
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力」をバランスよく確実に育むための具体的手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力や態度の育成 (3)基本的生活習慣の徹底と道徳教育の充実																																
事業の意図	経済的な事情により就学困難な児童生徒の保護者を援助することにより、すべての児童生徒が安心して義務教育を受けることができるようにします。																																
【主な実施内容】																																	
<p>小中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。</p> <p>なお、平成30年度から、翌年度の小学校入学予定者及び中学校入学予定者に対し、新入学用品費を入学前に支給するようにしました。</p> <p>(1) 支給人員 小学校 137人、中学校 65人</p> <p>(2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、生徒会費(中学校)</p> <p>(3) 費目別支給金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">小学校</th> <th style="text-align: center;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学用品費</td> <td style="text-align: right;">1,309,340円</td> <td style="text-align: right;">1,486,140円</td> </tr> <tr> <td>②通学用品費</td> <td style="text-align: right;">220,330円</td> <td style="text-align: right;">101,890円</td> </tr> <tr> <td>③学校給食費</td> <td style="text-align: right;">4,828,620円</td> <td style="text-align: right;">2,925,780円</td> </tr> <tr> <td>④新入学用品費</td> <td style="text-align: right;">649,600円</td> <td style="text-align: right;">995,400円</td> </tr> <tr> <td>⑤校外活動費</td> <td style="text-align: right;">396,289円</td> <td style="text-align: right;">638,233円</td> </tr> <tr> <td>⑥修学旅行費</td> <td style="text-align: right;">599,590円</td> <td style="text-align: right;">924,291円</td> </tr> <tr> <td>⑦PTA会費</td> <td style="text-align: right;">166,910円</td> <td style="text-align: right;">118,050円</td> </tr> <tr> <td>⑧生徒会費</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">29,224円</td> </tr> <tr> <td>⑨入学前支給</td> <td style="text-align: right;">1,387,800円</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>				区分	小学校	中学校	①学用品費	1,309,340円	1,486,140円	②通学用品費	220,330円	101,890円	③学校給食費	4,828,620円	2,925,780円	④新入学用品費	649,600円	995,400円	⑤校外活動費	396,289円	638,233円	⑥修学旅行費	599,590円	924,291円	⑦PTA会費	166,910円	118,050円	⑧生徒会費	-	29,224円	⑨入学前支給	1,387,800円	-
区分	小学校	中学校																															
①学用品費	1,309,340円	1,486,140円																															
②通学用品費	220,330円	101,890円																															
③学校給食費	4,828,620円	2,925,780円																															
④新入学用品費	649,600円	995,400円																															
⑤校外活動費	396,289円	638,233円																															
⑥修学旅行費	599,590円	924,291円																															
⑦PTA会費	166,910円	118,050円																															
⑧生徒会費	-	29,224円																															
⑨入学前支給	1,387,800円	-																															
【評価及び課題、問題点など】																																	
<p>学校教育法、就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき事業を実施しています。経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより、義務教育就学の円滑化を図ることができるため、今後も継続していく必要があります。</p> <p>今後も引き続き、本事業の主旨について、全保護者に対し周知していく必要があります。</p> <p>また、現在1年生の児童生徒をもつ保護者に対し、入学後に支給している新入学用品費について、保護者が新入学用品の用意を始める入学前に支給することにより、より実態に即した援助となります。そのため、平成30年度から次年度入学予定の児童生徒の保護者のうち申請のあった保護者に対し、入学前の準備金を支給しました。</p>																																	

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	学校教育課																													
事業名	小中学校情報教育推進事業																															
教育の一般方針 重点施策	(6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備																															
事業の意図	全小中学校のコンピュータ教室の児童生徒用コンピュータが効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童生徒がコンピュータを利用し、学ぶことができる環境を整備して情報教育を推進します。																															
【主な実施内容】																																
<p>(1) パソコン教室の整備 全小中学校のコンピュータ教室に設置してあるコンピュータ 360 台(小学校6校×40 台、中学校3校×40 台)により、情報教育を推進できる環境を維持しました。 パソコン教室機器の整備状況(1校当たりの台数)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px;">ア</td><td>児童生徒用パソコン</td><td style="text-align: right;">40 台</td></tr> <tr><td>イ</td><td>教師用パソコン</td><td style="text-align: right;">1 台</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>カラープリンタ</td><td style="text-align: right;">1 台</td></tr> <tr><td>エ</td><td>プロジェクタ</td><td style="text-align: right;">1 台</td></tr> <tr><td>オ</td><td>デジタルカメラ</td><td style="text-align: right;">10 台</td></tr> <tr><td>カ</td><td>スキャナ</td><td style="text-align: right;">1 台</td></tr> <tr><td>キ</td><td>提示用機器</td><td style="text-align: right;">3 台</td></tr> </table> <p>(2) 安全に情報へアクセスできる環境 児童生徒がインターネットなどで安全に情報を取得できる環境を整備しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px;">ア</td><td>インターネットプロバイダへの接続</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ルータによる外部からの侵入の防御</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限</td></tr> <tr><td>エ</td><td>ウイルス対策ソフトウェアの導入</td></tr> </table> <p>(3) 情報コンテンツの利用による授業展開 コンピュータグラフィックなどにより分かりやすく表現した情報コンテンツ等を利用して授業を行い、理解度を深めました。 利用コンテンツ数 57 個(小学校41 個、中学校16 個)</p>				ア	児童生徒用パソコン	40 台	イ	教師用パソコン	1 台	ウ	カラープリンタ	1 台	エ	プロジェクタ	1 台	オ	デジタルカメラ	10 台	カ	スキャナ	1 台	キ	提示用機器	3 台	ア	インターネットプロバイダへの接続	イ	ルータによる外部からの侵入の防御	ウ	インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限	エ	ウイルス対策ソフトウェアの導入
ア	児童生徒用パソコン	40 台																														
イ	教師用パソコン	1 台																														
ウ	カラープリンタ	1 台																														
エ	プロジェクタ	1 台																														
オ	デジタルカメラ	10 台																														
カ	スキャナ	1 台																														
キ	提示用機器	3 台																														
ア	インターネットプロバイダへの接続																															
イ	ルータによる外部からの侵入の防御																															
ウ	インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限																															
エ	ウイルス対策ソフトウェアの導入																															
【評価及び課題、問題点など】																																
<p>平成30年度に小学校に校内LANを整備したことで、町内全小中学校の校内LANの整備は終わりましたが、文部科学省の整備基準を満たしていないため、一層の情報教育機器を整備する必要があり、情報教育機器の整備を推進するため、学校と協議し、内容を検討する必要があります。普通教室からインターネットに接続ができるようになれば、授業などでインターネットが活用でき、様々な情報を調べることができるようになります。</p>																																

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	社会教育振興事業・各種教室開催事業		
関連する重点施策	1 生涯学習活動の充実		
事業の意図	1 社会教育振興事業 生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。 2 各種教室開催事業 興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。		
【主な実施内容】			
1 社会教育振興事業 (1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年2回） 印刷部数：2017 秋号 17,600 部 2018 春号 17,600 部 (2) 「東郷の教育」の刊行（年1回） 印刷部数：200 部 (3) 生涯学習講座の講師登録者数 前年から5人増加し、222人になりました。 (4) ボランティア活動等主催者賠償責任保険に加入しました。 加入団体：社会教育関係5団体 2 各種教室開催事業 各種教室数 11 教室 年間受講者延べ人数 792 人			
【総合評価】			
1 社会教育振興事業 「ジョイフル」は、生涯学習情報誌として、町内で行われる事業をできる限り掲載しました。また、全戸配布することで、各家庭で手軽に情報を収集していただくことができました。 「東郷の教育」については、教育委員会の1年間の事業等の記録を作成し、価値のある資料を作成することができました。 2 各種教室開催事業 最低人数が集まらず、実施することができない講座があったため、町民のニーズにあった講座を企画できるよう、情報収集等に努める必要があります。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課												
事業名	放課後子ども教室推進事業														
関連する重点施策	2 放課後子どもプランの推進														
事業の意図	身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学年の異なる子ども同士や地域の大人との交流を図り、学習の支援を始めとした様々な体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養います。														
【主な実施内容】															
<p>放課後子ども教室推進事業</p> <p>(1) 内容</p> <p>ア 学びの場：自主学習の支援、読書等</p> <p>イ 遊びの場：将棋・囲碁、トランプ、体育館スポーツ、屋外での遊び等</p> <p>ウ 体験の場：お茶の手ほどき、工作、昔遊び等</p> <p>エ ふれあいの場：グランドゴルフ、自然観察等</p> <p>(2) 開所日等</p> <p>平成30年4月1日から平成31年3月31日まで</p> <p>月曜日から金曜日まで（年末年始（12/28～1/6）、お盆の期間（8/11～20）、国民の祝日に関する法律に規定する休日、式日、その他学校行事による施設利用不可日等は除く。）</p> <p>授業のある日：各学年授業終了後から午後5時30分まで</p> <p>授業のない日：午前9時から午後5時まで</p> <p>（ただし、学校行事等で開所しない場合あり。）</p> <p>(3) 場所</p> <p>兵庫小学校、高嶺小学校、東郷中学校、音貝小学校、諸輪小学校、春木台小学校</p> <p>(4) 開所日数</p> <p>210日（兵庫） 221日（高嶺） 210日（東郷） 224日（音貝） 222日（諸輪） 223日（春木台）</p> <p>(5) 登録数及び1日平均参加児童数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>209人登録</td> <td>約26人/日（兵庫）</td> <td>162人登録</td> <td>約23人/日（高嶺）</td> </tr> <tr> <td>146人登録</td> <td>約26人/日（東郷）</td> <td>221人登録</td> <td>約36人/日（音貝）</td> </tr> <tr> <td>152人登録</td> <td>約35人/日（諸輪）</td> <td>176人登録</td> <td>約28人/日（春木台）</td> </tr> </table> <p>(6) 参加費</p> <p>無料（別途傷害保険料年額800円、材料費等実費相当分については参加者の負担）</p> <p>(7) 研修</p> <p>ア 放課後子どもプラン指導者研修会（2人）</p> <p>イ 放課後子どもプランコーディネーター等研修会（1人）</p> <p>ウ 普通救命講習会（20人）</p> <p>エ 障害児等への対応を考える研修会（25人）</p>				209人登録	約26人/日（兵庫）	162人登録	約23人/日（高嶺）	146人登録	約26人/日（東郷）	221人登録	約36人/日（音貝）	152人登録	約35人/日（諸輪）	176人登録	約28人/日（春木台）
209人登録	約26人/日（兵庫）	162人登録	約23人/日（高嶺）												
146人登録	約26人/日（東郷）	221人登録	約36人/日（音貝）												
152人登録	約35人/日（諸輪）	176人登録	約28人/日（春木台）												
【総合評価】															
<p>就労家庭以外の保護者にも、放課後を安全に過ごす場の1つとして提供できており、児童の健やかな育成を支援することができています。</p> <p>学校敷地内で実施できているため、安全な移動経路を確保できています。</p> <p>使用可能な場所が限られることから、参加人数が多いときは狭いスペースでの活動となります。学校施設の使用可能な場所の拡大について協議し、放課後児童クラブと一体化を進めます。</p> <p>臨時職員のみで運営しているため、教室ごとの独自運営部分もあり、標準化するには統括する正規職員の配置が必要です。</p>															

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	青少年健全育成事業・家庭教育等推進事業		
関連する重点施策	3 青少年の健全育成と家庭教育の充実		
事業の意図	1 青少年健全育成事業 東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。 2 家庭教育等推進事業 家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。		
【主な実施内容】			
1 青少年健全育成事業 (1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布を実施しました。 ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰（平成30年11月18日表彰式） 青少年の部 20人 青少年指導者の部 3人 青少年団体の部 なし イ 啓発資材作成及び掲示（11月中） のぼり（190枚） (2) 少年補導委員事業 少年補導員6名による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。			
2 家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。			
【総合評価】			
1 青少年健全育成事業 平成30年度は、優良青少年・指導者等の表彰式が中学校及び高校の試験期間と重なってしまったため、日程を変更する必要があります。			
2 家庭教育等推進事業 6小学校で開催回数に差はありますが、それぞれ工夫し、講座を通して親同士の交流や家庭教育に関する情報交換を行う機会となっています。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

	担 当 課	生涯学習課
事業名	公民館文化ふれあい事業・音楽祭開催事業 町民会館文化ふれあい事業・文化団体育成事業	
関連する重点施策	4 文化・芸術の振興	
事業の意図	1 公民館文化ふれあい事業 身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。 2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくるとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくります。 3 町民会館文化ふれあい事業 町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。 4 文化団体育成事業 団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。	
【主な実施内容】		
1 公民館文化ふれあい事業 (1) コンサートへの誘い 第76回 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル (2) レクチャー・ミニコンサート 6回開催 (3) 町民大学講座（ミニ文化講演会） 3回開催 2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒が日頃の練習の成果を発表するために音楽祭を開催しました。 (1) ソロ・アンサンブルの部 (2) 吹奏楽の部 (3) 合唱の部 3 町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。 (1) 天達武史のお天気講座「今、知ってほしい災害対策」 (2) 三遊亭好楽・林家たい平二人会 (3) 中野振一郎の世界～宮廷の華チェンパロ/ヴェルサイユ編～〈フランソワ・クープラン生誕350年〉 (4) 米村でんじろうサイエンスショー 4 文化団体育成事業 (1) 文化協会育成推進事業		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

文化協会の運営活動に対し補助金を交付しました。

- (7) 加盟団体数 29 団体
- (4) 各部の活動回数 601 回

(2) 東郷音頭保存会育成事業

東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。

- ア 会員数 82 人
- イ 自主活動回数 66 回

【総合評価】

1 公民館文化ふれあい事業

コンサートの誘いは、チケットが発売初日に完売してしまいましたが、枚数制限や整理券の配布を行わなかったため、できるだけ多くの方にチケットを購入していただけるよう、販売方法の検討が必要です。

2 音楽祭開催事業

町民が日ごろの成果を発表できる機会の一つとして、今後も引き続き音楽祭を開催していきます。

3 町民会館文化ふれあい事業

平成30年度も、高い集客率の事業を実施することができました。今後も、様々な芸術文化に触れていただけるよう、事業を企画していきます。

4 文化団体育成事業

平成30年度は新たに2団体が文化協会に加盟しました。今後も各部が活発に活動していけるよう、後継者の育成が必要です。

東郷音頭保存会が行った子ども教室や出前指導では、子ども達が楽しく東郷音頭や東郷小唄を学ぶことができました。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	歴史民俗資料事業		
関連する重点施策	5 郷土資料館の充実		
事業の意図	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。		
【主な実施内容】			
<p>歴史民俗一般管理事業</p> <p>(1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開催し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。</p> <p>(2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー 6回開催 計215名が参加 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明</p> <p>(3) 新収蔵品 民俗資料 アイロン（2点）、トランジスタラジオ</p> <p>(4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種</p>			
【総合評価】			
収蔵品を十分に活用するためには、資料の整理と検索性の向上が必要です。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	文化財保護事業		
関連する重点施策	6 文化財の保護と継承		
事業の意図	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるように保存していきます。		
【主な実施内容】			
<p>文化財保護事業</p> <p>(1) 文化財保護委員会関係事業 町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を年3回開催しました。</p> <p>(2) 文化財講座等事業</p> <p>ア 文化財めぐり 町民に文化財を理解してもらうために文化財めぐりを開催しました。 期 日 平成30年10月20日(土) 場 所 祐福寺 参加者 20人</p> <p>イ 歴史講座 「名古屋城と尾張藩の誕生」と題して3回連続講座を開催しました。 講 師 原史彦氏(徳川美術館 学芸員) 参加者 延べ45人</p> <p>(3) 文化財保存事業</p> <p>ア 県指定文化財である祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。 イ 町指定無形民俗文化財の備品修理に対し補助を行いました。</p> <p>(4) 町指定無形民俗文化財保存育成事業 伝統文化こども教室の発表会を開催しました。</p>			
【総合評価】			
<p>文化財を適切に管理、保護することで、後世まで文化財を残していく必要があります。 また、東郷町の歴史を紡いでいくため、御協力いただける方を探し、当時の暮らしやまちの様子などについて聞き取り調査等を行うことも重要です。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	図書館管理運営事業		
関連する重点施策	7 図書館活動の推進		
事業の意図	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄り、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 図書館管理運営事業</p> <p>ア 図書館法第14条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">(7) 図書館協議会委員数 8名</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 図書館協議会開催回数 年1回</p> <p>イ 図書館の利用状況</p> <p style="margin-left: 20px;">(7) 図書館開館日数 283日</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 利用者数 37,053人</p> <p style="margin-left: 20px;">(ウ) 入館者数 119,100人</p> <p style="margin-left: 20px;">(エ) 貸出冊数 153,722冊</p> <p>ウ 図書館の蔵書数 計126,658冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(7) 一般書 77,455冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 児童書 37,357冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(ウ) 参考資料 817冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(エ) 郷土資料 4,431冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(オ) 点字資料 329冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(カ) 紙芝居 1,182冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(キ) ビデオ・DVD 640冊</p> <p style="margin-left: 20px;">(ク) 雑誌 4,447冊</p> <p>(2) 指定管理者制度</p> <p style="margin-left: 20px;">平成30年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設運営管理を実施しました。</p> <p>ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>イ 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p>			
【総合評価】			
<p>毎月のおはなし会及びお楽しみ会以外にも、いこまい館のつどいの広場や2歳児歯科健診での読み聞かせ等を行うことで、子どもたちに本に親しんでもらい、図書館に足を運んでもらう機会が増えるよう、PRに努めました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	各種スポーツ開催事業・レガッタ推進事業		
関連する重点施策	8-1 スポーツの普及・振興		
事業の意図	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。		
【主な実施内容】			
<p>1 各種スポーツ教室開催事業</p> <p>親子ボート体験会（ナックルフォア）3回開催（5月19日、8月18日・25日） 参加申込み人数 31人（うち子供25人） ボート教室（ナックルフォア）1回開催（2日間：6月10日・24日） 参加申込み人数 19人（うち子供8人） 延べ参加人数 28人</p> <p>2 町民レガッタ開催事業</p> <p>(1) 開催種目（ナックルフォア500m） ガッツマン、ジェントルマン、グランドシニア男子、レディー、マダム、グランドシニア女子、ミックス、中学生、高校生、地区別体験レース、3市1町スポーツ推進委員の部</p> <p>(2) 開催日 平成30年8月5日（日）</p> <p>(3) 場所 愛知池漕艇場</p> <p>(4) 参加クルー数 140クルー（887人）</p> <p>(5) 来場者数 約2,500人</p> <p>(6) その他</p> <p>ア 大会プログラムを1,200部作成しました。 イ 大会ポスター120部作成し、町内公共施設等に掲示しました。 ウ 会場テント、仮設トイレ設営等を委託しました。</p>			
【総合評価】			
<p>1 各種スポーツ教室開催事業</p> <p>本町の特色であるボートを活用して、より多くの子ども達にスポーツを体験して楽しんでもらえるような企画を立案し、スポーツ人口の裾野の拡大を図ります。</p> <p>2 町民レガッタ開催事業</p> <p>近年の猛暑により、参加者や運営スタッフが熱中症となる恐れがあるため、開催時期の見直しを行い、参加者等の安全を確保して大会を開催できるようにする必要があります。 また、現有のボート、オール等が老朽化しているため、計画的に更新していく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

担当課		生涯学習課
事業名	スポーツ団体育成事業・スポーツ等指導者育成事業・スポーツ事業開催事業	
関連する重点施策	8-2 スポーツの普及・振興	
事業の意図	<p>スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始め る機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。</p> <p>スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポー ツの普及と振興を図ります。</p> <p>レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知って もらえるようにします。</p>	
【主な実施内容】		
<p>1 スポーツ団体育成事業</p> <p>(1) 下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 東郷町体育協会 加盟団体数 17 団体</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 少年少女スポーツクラブ 加盟団体数 1 団体</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 東郷町ボート協会 構成団体数 1 団体</p> <p style="margin-left: 20px;">エ TOGOスポーツクラブ (19 回開催) 各小学校においてスポーツ教室等を実施</p> <p>(2) スポーツイベント「とうごう体操まつり 2018」を町内のスポーツ関係団体で連携し開催</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 開催日・場所 平成30年9月29日(土) 総合体育館アリーナ</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 参加者数 536 人</p> <p>2 スポーツ指導者育成事業</p> <p>(1) スポーツ推進委員関係事業</p> <p style="margin-left: 20px;">スポーツ推進委員23名が、本町のスポーツ振興のために、家族体力づくりの日、レクリエーションス ポーツなどの各種スポーツ大会及び事業を主管して、町民に対してスポーツの実技指導その他スポー ツに関する指導・助言を行いました。</p> <p style="margin-left: 20px;">また、スポーツ関係機関との連絡調整及び各種研修会に参加して、ニュースポーツの紹介、競技の指 導技術及び知識の高揚に努めました。</p> <p>(2) 体力づくり推進委員関係事業</p> <p style="margin-left: 20px;">体力づくり推進委員50名が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りな がら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質 及び技術向上のため研修を実施しました。</p> <p>3 スポーツ事業開催事業</p> <p>(1) レクスポ大会事業</p> <p style="margin-left: 20px;">レクリエーションスポーツの普及を図るために、第27回レクスポ大会(種目:レク楽・インディア カ)を開催しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 開催日・場所 平成31年2月17日(日) 総合体育館</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 参加チーム数 16 チーム(78人)</p> <p>(2) 町民ハイキング事業</p> <p style="margin-left: 20px;">日常では体験できない野外活動を通じて、心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活となるよ う、第44回町民ハイキングを実施しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 開催日・場所 平成30年10月28日(日) 滋賀県大津市</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 参加人数 122名</p>		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

【総合評価】

1 スポーツ団体育成事業

引き続き、町内のスポーツ関係団体間やスポーツを通じた他分野の各種団体との連携を促進させるとともに、各スポーツ団体の育成も継続して行うことで、魅力あるスポーツイベントが町内で開催されるよう支援していきます。

2 スポーツ指導者育成事業

スポーツ指導者の資質向上は、地域スポーツの振興に繋がる重要事項であるため、今後もより効果的な研修会を開催するなど、地域のスポーツ指導者を継続的に養成していきます。

3 スポーツ事業開催事業

レクスポ大会については、今後も、競技ルールをアレンジするなど、誰でも気軽に参加できるような大会として開催していきます。

また、町民ハイキングについても、人気の高いイベントですが、より多くの方が参加したいと思っただけのようなコースを選定していく必要があります。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	スポーツ交流事業		
関連する重点施策	8-3 スポーツの普及・振興		
事業の意図	<p>ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。</p> <p>東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。</p>		
【主な実施内容】			
<p>スポーツ交流事業</p> <p>(1) 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 東尾張地区大会</p> <p style="margin-left: 40px;">町内から6種目（グラウンドゴルフ1チーム、ソフトバレーボール2チーム、年齢別テニス1チーム、年齢別バドミントン1チーム、弓道4チーム、軟式野球1チーム）の代表10チームを東尾張地区大会に派遣しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 県大会</p> <p style="margin-left: 40px;">東尾張地区大会で、優勝した軟式野球と予選大会のないグラウンドゴルフとタスポニーの3種目の町代表チームが県大会に出場しました。</p> <p>(2) 愛知県市町村対抗駅伝事業</p> <p style="margin-left: 20px;">県内市町村の交流、スポーツに対する県民意識の高揚を図るために、平成30年12月1日（土）に愛・地球博記念公園内で愛知県市町村対抗の駅伝大会が開催され、全市町村54チーム（うち町村16チーム）が参加しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">本町からは、20名の選手及び監督が参加し、町村の部において2位に入賞しました。</p>			
【総合評価】			
<p>愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル大会については、参加するチームの支援を継続する必要があります。</p> <p>愛知駅伝については、選手選考会前から小中学生の強化選手を募集して定期練習会を開催するなど、優勝に向けて、町代表チームの育成強化を図ります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課														
事業名	体力づくり推進事業																
関連する重点施策	8-4 スポーツの普及・振興																
事業の意図	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。																
【主な実施内容】																	
<p>体力づくり推進事業</p> <p>(1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放して「家族体力づくりの日」を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッジビー、グラウンドゴルフ等を行いました。また、各小学校区において年1～2回スポーツ大会やスポーツ教室を実施しました。</p> <p>(2) 「家族体力づくりの日」参加状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ア 東郷小学校区</td> <td style="text-align: right;">258 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">イ 春木台小学校区</td> <td style="text-align: right;">345 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ウ 諸輪小学校区</td> <td style="text-align: right;">591 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">エ 音貝小学校区</td> <td style="text-align: right;">95 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">オ 高嶺小学校区</td> <td style="text-align: right;">760 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">カ 兵庫小学校区</td> <td style="text-align: right;">290 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">合計</td> <td style="text-align: right;">2,339 人</td> </tr> </table>				ア 東郷小学校区	258 人	イ 春木台小学校区	345 人	ウ 諸輪小学校区	591 人	エ 音貝小学校区	95 人	オ 高嶺小学校区	760 人	カ 兵庫小学校区	290 人	合計	2,339 人
ア 東郷小学校区	258 人																
イ 春木台小学校区	345 人																
ウ 諸輪小学校区	591 人																
エ 音貝小学校区	95 人																
オ 高嶺小学校区	760 人																
カ 兵庫小学校区	290 人																
合計	2,339 人																
【総合評価】																	
<p>より多くの町民の皆様に家族体力づくりの日事業に参加してスポーツを楽しんで頂けるよう、主催者側からの各種団体等へのアプローチを積極的に行っていく必要があります。</p>																	

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	体育施設管理事業・総合体育館管理事業		
関連する重点施策	9 体育施設の整備充実		
事業の意図	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。 総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>1 体育施設管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度（総合体育館管理事業と共通） 平成30年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。</p> <p>ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 イ 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>(2) 体育施設一般管理事業</p> <p>ア 町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)について指定管理者による施設管理を実施しました。</p> <p>イ 町民運動広場の北側ダグアウト(2箇所)を改修しました。</p> <p>ウ 愛知池運動公園テニスコートに水場を整備しました。</p> <p>エ 愛知池運動公園駐車場用地(7,039㎡)、町民運動広場用地(16,705㎡)及び境川緑地公園用地(982㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>オ 愛知池運動公園管理棟、愛知池総合監視所及びトーゴーボートハウスの長寿命化計画を策定しました。</p> <p>(3) 愛知池漕艇場維持管理事業</p> <p>ア ボートハウス及び総合監視所の光熱水費の支払い及び施設設備の保守業務を委託しました。</p> <p>イ ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員2名を雇用しました。</p> <p>(4) ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業 ふれあい広場ゲートボール場用地(991㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>2 総合体育館管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度(体育館管理事業と共通) 上記「体育施設管理事業(1)」に同じ</p> <p>(2) 総合体育館管理事業</p> <p>ア 総合体育館について指定管理者による施設管理を実施しました。</p> <p>イ 総合体育館のバスケットゴールを更新しました。</p> <p>ウ 総合体育館駐車場用地(1,389㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>エ 総合体育館の長寿命化計画を策定しました。</p>			
【総合評価】			
<p>町内のスポーツ施設には限りがあるため、有効かつ効率的に利用できるよう指定管理者とともに検討していく必要があります。</p> <p>老朽化したスポーツ施設の修繕を対処療法的に行うのではなく、長寿命化計画に基づき計画的に実施していく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

		担 当 課	高校総体室
事業名	高校総体準備事業		
関連する重点施策	10 平成 30 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）ボート競技大会の開催		
事業の意図	各都道府県の代表選手が、成果を十分発揮できるようにします。また、高校総体を通じてボート振興を図ります。		
【主な実施内容】			
<p>高校総体開催事業</p> <p>(1) 会議に出席しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 愛知県実行委員会 2回</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 愛知県関係者連絡会議 2回</p> <p>(2) 東郷町実行委員会を設立し、会議を開催しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">総会 1回（第3回（解散））</p> <p>(3) 関係団体と打合せ（3者打合せ・専門部会）を行いました。（関係団体＝愛知県高等学校体育連盟ボート専門部、愛知県ボート協会、町職員）</p> <p style="margin-left: 20px;">打合せ回数 11回</p> <p>(4) リハーサル大会を開催しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">平成30年6月16日から17日（会場：愛知池漕艇場 東郷コース、東海高校総体ボート競技大会と同時開催）</p> <p>(5) 組合せ抽選会を開催しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">平成30年6月29日（会場：東郷町役場大会議室）</p> <p>(6) 高校総体ボート競技大会を開催しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 公式練習</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年7月28日から29日（会場：東郷町総合体育館）※台風により中止</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 開会式</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年7月29日（会場：東郷町総合体育館）</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 競漕会</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年7月30日 予選（会場：愛知池漕艇場 東郷コース）</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年7月31日 敗者復活戦（会場：愛知池漕艇場 東郷コース）</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年8月 1日 準々決勝（会場：愛知池漕艇場 東郷コース）</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年8月 2日 準決勝・決勝（会場：愛知池漕艇場 東郷コース）</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 表彰式・開会式</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年8月2日（会場：愛知池漕艇場 東郷コース 特設会場）</p> <p style="margin-left: 20px;">オ その他</p> <p style="margin-left: 40px;">選手・監督：1,138人（199校、273クルー）、運営スタッフ：735人、観客：3,600人</p> <p>(7) 後催県に事務引継ぎを行いました。</p> <p style="margin-left: 20px;">平成30年10月9日（相手：熊本県菊池市実行委員会）</p>			
【総合評価】			
<p>本町での全日本級の大会は、平成6年の愛知国体以後24年ぶりの開催でした。大会期間中は、全国から多くの方が来町され、全国に「東郷町」を知っていただく機会となりました。</p> <p>また、関係団体との連携強化や大会運営のノウハウを得たことなど、本町の今後のボート振興に活かせるものとなりました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

	担 当 課	給食センター
事業名	給食センター管理運営事業	
関連する重点施策	(1) 学校給食の献立の充実 (2) 食に関する指導を推進する。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進する。 (4) 衛生管理を徹底し、食中毒防止に努める。 (5) 老朽施設・設備等の改修を計画的に実施する。	
事業の意図	給食センター内の調理設備を常に安定稼働させ、衛生的で安全な給食を安定して提供できるようにします。	
【主な実施内容】		
給食センター管理運営事業 (1) 魅力あるおいしい給食づくり ア 献立委員会や物資選定委員会より出された意見やこれまでの反省等を元に旬の食材や地元食材を大切に イ 運営委員会を開催しセンターの運営について審議しました。 (7) 開催日 平成30年6月21日(木) (4) 主な内容 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画、学校保育園栄養士による栄養指導計画 (ウ) 運営委員 教育部長、福祉部長、各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の 会代表 計22名 (2) 食に関する指導の推進 全小中学生に対して栄養教諭による食に関する指導を行いました。 小学校低学年には、食べる姿勢や箸の使い方等を、小学校高学年や中学生には栄養素や食習慣等をテーマ に指導を行いました。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食の推進 ア 食育だより「いただきます」を保護者の各家庭に配布し、望ましい食生活を啓発しました。また、読者 を増やすため発行月の献立表の裏面に印刷をしました。 イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。 (4) 応募献立 児童生徒に給食への関心高めてもらうため、テーマを決め、献立を募集しました。受賞献立については、 給食として提供しました。 ア テーマ「愛知のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」 イ 受賞献立数 11献立(小学生7献立、中学生4献立) (5) 衛生管理の徹底、食中毒防止 センター内の職員全員(委託業者含む)の検便検査(サルモネラ、赤痢、0-157、冬季はノロウイルス) を月2回実施しました。 (6) その他 ア 給食調理配送等業務について事業者と契約を行いました。 イ 給食用物資納入業者の選定及び登録を行いました。		
【総合評価】		
給食センターの運営について、効率的な運営、維持管理に努めました。安全安心で日本一美味しい給食の提供に向け、地産地消食材、有機食材の活用や衛生環境の向上に努めていきます。		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

担 当 課	給食センター
-------	--------

事業名	小学校給食事業・中学校給食事業
関連する重点施策	(1) 学校給食の献立の充実 (2) 食に関する指導を推進する。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進する。
事業の意図	児童生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食を提供する。

【主な実施内容】

- (1) 提供食数 ()内はH29年度実績
 ア 小学校※ 580,322食 (589,904食) イ 中学校 256,643食 (264,163食)
 ウ 合 計 836,965食 (854,067食) ※ ハトフルとうごう、給食センター職員等
- (2) 献立作成の重点
 ア 家庭の食事不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。(呉汁、ししゃもフライ等)
 イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。(7月夏野菜カレー、10月栗入り五目ご飯)
 ウ 年中行事などにちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。
 (10月実施(お月見)月見団子、2月実施(節分)いわし蒲焼き)
 エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さをアピールしました。(れんこんサラダ、ししゃもフライ等)
- (3) 地場産物の使用状況
 地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。
 また、地産地消推進事業として東郷町産食材5品目について公費による給食を提供しました。

食材	使用月	使用した献立名
米、もち米、赤米(※)	4、3	古代米赤飯、東郷町産お米のタルト(11月提供)
タマネギ	6	オニオンスープ
ローゼル(※)	6	東郷町産ローゼルジャム、ゼリー
なす	7	夏野菜カレー
トマト(※)	7	東郷町産トマト
かぼちゃ(※)	10	東郷町産かぼちゃコロッケ
柿(※)	11	東郷町産柿
大根	12~1	七草汁他
ねぎ	1	豚汁他
白菜	1	土佐あえ他

※ 地産地消推進事業対象

- (4) 残菜量
 給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。
 ア 合計 8,281kg (前年度分8,912kg)
 イ 内訳(カッコ内は前年度分)

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成30年度〕

種 別	小学校			中学校		
	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)
総 量	5,846kg (5,725kg)			2,435kg (3,187kg)		
内 訳	3,003kg (2,986kg)	926kg (867kg)	1,917kg (1,872kg)	1,041kg (1,511kg)	414kg (429kg)	980kg (1,248kg)
一食当 り	5.0g (5.1g)	1.5g (1.5g)	3.2g (3.2g)	3.8g (5.7g)	1.6g (1.6g)	3.6g (4.8g)
合 計	9.7g (9.8g)			9.0g (12.1g)		

※ ハートフル、給食センター等は小学校分としております。

【総合評価】

- (1) 提供食数について
小学校、中学校ともに行事等の関係により実施日数が減少したため食数が微減しております。
- (2) 献立作成の重点について
給食センターの取り組みを理解してもらえよう、給食だよりだけでなく、校内放送を通じて伝えたり、給食指導の際に直接話をしたりすることは効果があったと思います。
- (3) 応募献立について
応募献立は児童生徒の給食への関心を高めるためのもので、毎年多くの応募があります。応募献立の実施は、児童生徒が自分の家の味や料理について考える良い機会になっているようです。今後も継続していきたいと思います。
- (4) 地場産物の活用について
使用食材の価格や規格、約4,800食分を確保できるか、といった問題があります。また、農作物は、天候等の自然的要因を受けやすく、安定した供給が見込めないこともあります。そんな中でも、児童生徒に少しでも地元の食材を食べることの意義を感じてほしいと考えているため、今後も継続し取り組んでいきたいです。
- (5) 残菜について
昨年度と比較して残菜が減っており、栄養指導で食の大切さについて学んでもらう取り組みが徐々に表れているかと思えます。
また、献立作成時には献立委員会での意見を反映させ、メニューに応じた味付けの工夫や改善を行ったことも残菜が減った要因の一つと考えられますので、今後も引き続き研究していきたいと考えております。
喫食状況については、給食指導等で児童生徒と一緒に給食を食べることで残菜の総量だけでは見えない様々な問題の本質が見えてきます。学校単位では残菜量が少なくても、ある学年、クラスだけが大量に残していたりすることもあります。この問題については栄養指導の授業だけでなく、担任の先生の日常的なアプローチが必要不可欠であると思います。また、季節によっても食欲の増減があるため、季節ごとに食べやすいメニューを取り入れるなど工夫していきます。